

平成 27 年 3 月期第 2 四半期決算（4 月～9 月累計）説明資料

【当第 2 四半期業績の概要】

1. 当社グループの受注高につきましては、政府の国土強靱化策に基づく公共投資が堅調に推移し、民間建設投資も回復基調が継続している環境において、グループの総力を挙げ受注確保に向けて営業活動を展開した結果、10,993 百万円（前年同四半期比 6.6%減）となりました。

受注高の内訳について、土木事業は主力である橋梁工事において、多様化する総合評価落札方式への対応を一層強化し営業活動を展開しましたが、発注時期のズレなどから当初計画を下回り、6,428 百万円（前年同四半期比 12.0%減）に留まりました。

一方、建築事業はマンション事業が回復傾向にあることや政府による学校施設・住宅等の耐震化が推進されていることから、当社の独自商品である「FR板」や「パラレル」の営業強化に努めた結果、4,328 百万円（前年同四半期比 2.5%増）となりました。

また、不動産賃貸事業は競争が激化するなか、テナント獲得に向け営業活動を展開した結果、236 百万円（前年同四半期比 2.2%増）となりました。

2. 当社グループの売上高につきましては、当社の繰越工事が前期に比べ 31 億円増加し、工事が順調に進捗したことから 10,509 百万円（前年同四半期比 11.5%増）となりました。

売上高の内訳は、土木事業 7,087 百万円（前年同四半期比 22.0%増）、建築事業 3,306 百万円（前年同四半期比 5.4%減）、不動産賃貸事業 115 百万円（前年同四半期比 0.1%増）であります。

3. 当社グループの損益につきましては、当社の売上高が前期に比べ 10 億円程度増加したことなどから、営業利益は 77 百万円（前年同四半期比 420.7%増）、経常利益は 72 百万円（前年同四半期比 408.2%増）となりました。なお、四半期純利益は前年同四半期の特別利益（課徴金等引当金戻入額 401 百万円、固定資産売却益 10 百万円）の反動減により 48 百万円（前年同四半期比 88.2%減）となりました。

当第 2 四半期（4 月～9 月累計）連結業績と前年同四半期連結業績との比較 （単位：百万円）

項目	前四半期実績	当四半期実績	増減額	増減率	備考
受注高	11,766	10,993	△773	△6.6%	減少
売上高	9,424	10,509	1,085	11.5%	増収
営業利益	14	77	62	420.7%	増益
経常利益	14	72	58	408.2%	増益
四半期純利益	406	48	△358	△88.2%	減益

（注）金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

【参考】

① セグメント別受注高、売上高、繰越高（連結）

○前期繰越高

項目	前第2四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）		当第2四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）		増減金額	対前期比
	金額	構成比率	金額	構成比率		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
土木事業	17,760	80.9	19,748	79.0	1,988	11.2
建築事業	4,196	19.1	5,249	21.0	1,052	25.1
不動産賃貸事業	-	-	-	-	-	-
その他	0	0.0	-	-	△ 0	△ 100.0
合計	21,957	100.0	24,998	100.0	3,040	13.8

(注)「その他」は、建設資機材のリース等であります。

○受注高

項目	前第2四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）		当第2四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）		増減金額	対前期比
	金額	構成比率	金額	構成比率		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
土木事業	7,305	62.1	6,428	58.5	△ 876	△ 12.0
建築事業	4,222	35.9	4,328	39.3	105	2.5
不動産賃貸事業	231	2.0	236	2.2	5	2.2
その他	7	0.0	-	-	△ 7	△ 100.0
合計	11,766	100.0	10,993	100.0	△ 773	△ 6.6

(注)「その他」は、建設資機材のリース等であります。

○売上高

項目	前第2四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）		当第2四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）		増減金額	対前期比
	金額	構成比率	金額	構成比率		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
土木事業	5,811	61.7	7,087	67.4	1,275	22.0
建築事業	3,496	37.1	3,306	31.5	△ 190	△ 5.4
不動産賃貸事業	115	1.2	115	1.1	0	0.1
その他	0	0.0	-	-	△ 0	△ 100.0
合計	9,424	100.0	10,509	100.0	1,085	11.5

(注)「その他」は、建設資機材のリース等であります。

○次期繰越高

項目	前第2四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）		当第2四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）		増減金額	対前期比
	金額	構成比率	金額	構成比率		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
土木事業	19,254	79.2	19,090	74.9	△ 164	△ 0.9
建築事業	4,922	20.3	6,271	24.6	1,348	27.4
不動産賃貸事業	116	0.5	121	0.5	4	4.2
その他	7	0.0	-	-	△ 7	△ 100.0
合計	24,300	100.0	25,482	100.0	1,201	4.9

(注)「その他」は、建設資機材のリース等であります。

② 個別業績の概要

(1) 当第2四半期（4月～9月累計）個別業績と前年同四半期個別業績との比較（単位：百万円）

項目	前四半期実績	当四半期実績	増減額	増減率	備考
受注高	11,400	10,464	△936	△8.2%	減少
売上高	9,101	10,147	1,045	11.5%	増収
営業利益	35	80	44	124.9%	増益
経常利益	42	82	39	94.9%	増益
四半期純利益	434	57	△377	△86.7%	減益

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(2) セグメント別受注高、売上高、繰越高（個別）

○前期繰越高

項目	前第2四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）		当第2四半期累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）		増減金額 百万円	対前期比 %
	金額	構成比率	金額	構成比率		
	百万円	%	百万円	%		
土木事業	17,669	80.8	19,743	79.0	2,073	11.7
建築事業	4,196	19.2	5,249	21.0	1,052	25.1
不動産賃貸事業	-	-	-	-	-	-
その他	0	0.0	-	-	△0	△100.0
合計	21,866	100.0	24,993	100.0	3,126	14.3

(注) 「その他」は、建設資機材のリース等であります。

○受注高

項目	前第2四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）		当第2四半期累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）		増減金額 百万円	対前期比 %
	金額	構成比率	金額	構成比率		
	百万円	%	百万円	%		
土木事業	6,939	60.9	5,900	56.4	△1,039	△15.0
建築事業	4,222	37.0	4,328	41.4	105	2.5
不動産賃貸事業	231	2.0	236	2.2	5	2.2
その他	7	0.1	-	-	△7	△100.0
合計	11,400	100.0	10,464	100.0	△936	△8.2

(注) 「その他」は、建設資機材のリース等であります。

○売上高

項目	前第2四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）		当第2四半期累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）		増減金額 百万円	対前期比 %
	金額	構成比率	金額	構成比率		
	百万円	%	百万円	%		
土木事業	5,489	60.3	6,725	66.3	1,236	22.5
建築事業	3,496	38.4	3,306	32.6	△190	△5.4
不動産賃貸事業	115	1.3	115	1.1	0	0.1
その他	0	0.0	-	-	△0	△100.0
合計	9,101	100.0	10,147	100.0	1,045	11.5

(注) 「その他」は、建設資機材のリース等であります。

○次期繰越高

項目	前第2四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）		当第2四半期累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）		増減金額 百万円	対前期比 %
	金額	構成比率	金額	構成比率		
	百万円	%	百万円	%		
土木事業	19,119	79.1	18,917	74.7	△201	△1.1
建築事業	4,922	20.4	6,271	24.8	1,348	27.4
不動産賃貸事業	116	0.5	121	0.5	4	4.2
その他	7	0.0	-	-	△7	△100.0
合計	24,165	100.0	25,310	100.0	1,144	4.7

(注) 「その他」は、建設資機材のリース等であります。

【平成 27 年 3 月期通期の見通し】

1. 当社グループの受注高につきましては、土木事業は総合評価落札方式への更なる対応強化や連結子会社のPCマクラギ事業への積極的な営業展開により受注確保に努めます。

また、建築事業は回復基調が継続しているマンション事業や増加が見込まれる住宅等の耐震補強事業の営業を更に強化することで、全体としては 242 億円（前期なみ）程度を見込んでおります。

受注高の内訳は、土木事業 160 億円、建築事業 80 億円、不動産賃貸事業 2 億円であり、それぞれ前期と同程度を見込んでおります。

2. 当社グループの売上高につきましては、当社の繰越工事が前期に比べ 31 億円増加し、工事は順調に進捗していることから 229 億円（前期比 8.6%増）程度を見込んでおります。

売上高の内訳は、土木事業 142 億円（前期比 2.6%増）、建築事業 85 億円（前期比 21.1%増）、不動産賃貸事業 2 億円（前期なみ）であります。

3. 当社グループの損益につきましては、売上高は増加するものの、建設技術者・技能労働者の不足や資機材費の高騰などから工事利益率が低下する見通しですが、「安全・品質・コスト」の3点を重点項目として工事施工の効率化、原価管理の徹底、施工や生産の省人化・省力化などを一層進めることで、営業利益は 350 百万円（前期比 24.0%減）、経常利益は 330 百万円（前期比 27.4%減）を、また当期純利益は前期発生の特利益の反動減により 270 百万円（前期比 67.3%減）程度を見込んでおります。

平成 27 年 3 月期通期連結業績予想と当期実績との比較

（単位：百万円）

項目	前期実績	当期予想	増減額	増減率	備考
受注高	24,132	24,200	67	0.3%	横ばい
売上高	21,092	22,900	1,807	8.6%	2期連続の増収
営業利益	460	350	△110	△24.0%	2期振りの減益
経常利益	454	330	△124	△27.4%	2期振りの減益
当期純利益	826	270	△556	△67.3%	2期振りの減益

【参考】

平成 27 年 3 月期通期個別業績予想と前期業績との比較

（単位：百万円）

項目	前期実績	当期予想	増減額	増減率	備考
受注高	23,319	23,400	80	0.3%	横ばい
売上高	20,193	22,100	1,906	9.4%	2期連続の増収
営業利益	436	340	△96	△22.1%	2期振りの減益
経常利益	444	330	△114	△25.8%	2期振りの減益
当期純利益	816	270	△546	△66.9%	2期振りの減益